

令和8年7月17日

課 名：土木建築局営繕課

担当者：耐震工事担当監 中谷

内 線：4210

旧広島陸軍被服支廠1号棟ほか2棟安全対策工事 における工事請負契約の変更について

1 要旨・目的

令和6年9月定例会において契約締結の議決を受けた「旧広島陸軍被服支廠1号棟ほか2棟安全対策工事」について、請負金額及び工期の変更を行う。

2 現状・背景

当該工事は、近隣住民の安全性確保と少人数の内部見学利用を目的に、文化財的価値を損なわず耐震補強や建物外部の劣化箇所を改善するため、安全対策工事を実施している。工事に伴う現地調査等の結果、設計時には把握し得なかった構造や状態が明らかになり、工法の見直しが必要になったことから、請負金額の増額及び工期を延長する。

3 概要

(1) 対象者(請負者)

清水・共立旧広島陸軍被服支廠1号棟ほか2棟安全対策工事特定建設工事共同企業体

(2) 事業内容

ア 工 事 名：旧広島陸軍被服支廠1号棟ほか2棟安全対策工事

イ 工事場所：広島市南区出汐二丁目4-60

ウ 工事内容：耐震改修、れんが壁補修、瓦葺替、防水改修等（1～3号棟共通）

エ 請負金額：当初 2,307,800,000 円（税込）

変更 2,355,020,800 円（税込）（増額 47,220,800 円）

【主な増減内訳と理由】

① 屋根面の現状に応じた設計変更による増

屋根瓦を取り外したところ、屋根面のコンクリートについて、厚みが薄い部分があることや、打設時の施工不良、鉄筋腐食、ひび割れが多数発生していることが明らかになり、屋根面のコンクリートが損傷しないように、屋根下地材等の変更、断面を修復するためのモルタル充填工事の追加等による増（増額：約41百万円）

② 既存基礎の形状に応じた設計変更による増

土間コンクリート下の土を掘削したところ、実施設計図と一部の基礎の形状が異なっていることが明らかになり、既存基礎が損傷しないように、増設する基礎及び耐震鉄骨フレームの形状を変更したことによる増（増額：約3百万円）

オ 工 期：当初 令和6年10月2日～令和9年2月17日

変更 令和6年10月2日～令和9年3月31日（+約1.5か月）

【工期延長の理由】

屋根下地の仕様変更に伴い、有識者や文化庁の意見を踏まえた設計に時間を要し、全体工程を見直したため。

(3) スケジュール

令和8年9月定例会で請負契約の変更議案を提案するため、令和8年7月に仮契約を行い、議会承認後に本契約を行う。

(4) 予算（一部国庫）

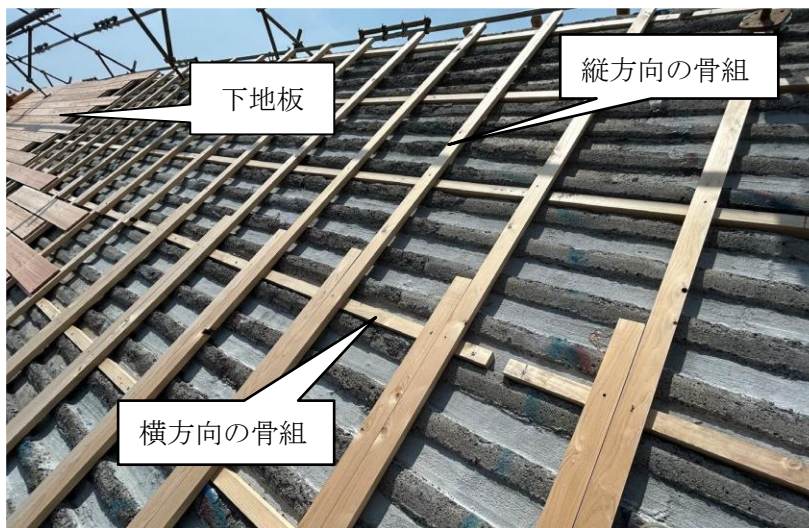
令和8年度 旧広島陸軍被服支廠安全対策工事 755,992千円

4 現況写真



屋根瓦を取り外した
屋根面のコンクリート
の状況

- ・厚みが薄い部分有
- ・施工不良
- ・鉄筋腐食
- ・ひび割れ



屋根下地材の変更

- ・固定ビスを短く、少なくするなど、屋根面のコンクリートへの損傷に配慮